



2019年度
西山小学校
学校だより

杉

第34号
2020年1月9日(木)
文責：笠原 聡

教育目標 ～ 深い雪にも耐え 大空に向かって たほしまっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

「よきにしまっこ(子)」の姿を目指して

7日(火)に第3学期が始まり、全校児童20名全員が登校してきました。始業式での校長講話では、子どもたちのこれまでの様子や学校評価における子どもたちの課題を解決、または克服するために、以下のような話をしました。



それでは、はじめにあいさつをします。あけましておめでとうございます。

さて、14日間の冬休みが終わり、今日から三学期が始まりました。20名全員が登校し、今のあいさつも、元気がよくてうれしく思います。

二学期の終業式で、こんな冬休みにしましょうという話をしました。覚えていますか。

それは、楽しかった、おもしろかっただけでなく、「こんなことをしました」「こんなことができました」というように胸を張れる、自慢のできる冬休みにしましょうということでした。

さあ、みんなの冬休みの生活はどうだったでしょうか。

もう、学級でお話をしたかもしれませんが、もしまだであれば、学級でそんな自慢できることを話してみてください。「こんなことをしました」「こんなことをがんばりました」というような、自分ががんばったことを、胸を張って紹介してください。

では、三学期のことについてお話をします。

三学期は、一年の中で一番短い学期で、学校に来る日が50日しかありません。一学期と比べると約20日、二学期とは約30日、一ヶ月も短い学期です。この短い三学期を、今の学年の総仕上げと次の学年に進むための準備の学期だと考えましょう。

みんなが今の学年になる時に、西山小学校の子どもたちが目指す姿として「よきにしまっこ」というものを決めました。「よきにしまっこ」というのは、「よい西山の子ども」ということです。この「よきにしまっこ」になるために、それぞれ1・2年生、3・4年生、5・6年生の目標があります。

およそ3か月後には、みんなは1つ上の学年に進みます。6年生は中学校に行きます。それぞれの学年の目標に向けて努力をし、上の学校、上の学年に進む時には、この「よきにしまっこ」に、できるだけ近づいていることを望みます。

そのためにも、三学期は、二学期までの自分のことをよく考えて、少しでも自分の力を高められるように、また、この西山小学校を自慢できる学校にしていけるように、自分のめあてや目標をしっかり決めて、「それを守るんだ」、「それを達成するんだ」という強い気持ちをもってがんばりましょう。そのための心構えとして、二学期と同じく

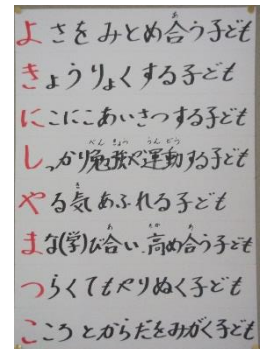
「失敗や間違いを 怖がらない」「進んで取り組み 最後まで」

「大きな声で はっきりと」 「他の人のこと考えて」

この4つのことを大切に、今の学年のうちに身につけなければならないことを身につけ、できるようにしなければならぬことをできるようにして、自信をもって、6年生は中学校に、他の学年の人は1つ上の学年に進めるようにがんばりましょう。

先生方は、三学期もみんなを支え、応援していきます。みんながんばりましょう。

これで校長先生のお話を終わります。



本校のホームページでは、日々の活動の様子などをお知らせしています。どうぞご覧ください。
ホームページアドレス yanaizu.fcs.ed.jp/西山小学校 (「やないづ教育ねっと」でも検索可)